



ガバナー月信
2月号QRコード

例会 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30 ホテル国際 2 1
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／若麻績信昭 幹事／西沢 徹 クラブ会報委員長／藤澤克彦
SAA／南 信行 副SAA／狩野 土

第1691回例会 2024年（令和6年）2月2日（金）

世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

会長挨拶

若麻績信昭会長



笑いの革命者達吉本N・S・C
1982(昭和57)年4月4日N・S・C
が開校しました。N・S・Cは「New
Star Creation(ニュー・スター・クリ
エーション)」和訳すると新しいス
ターを、創造、創作。人材発掘の意
味かと思えます。

第一期生は、男女約百名だったそうですが、その
二、三年後にもう頭角を現し「俺達は、天下を取った。
俺達の漫才は、完璧だ」と豪語する、松本・浜田の二人
がいました。「ダウタウン」です。

彼らのデビューは、吉本興業の心斎橋「二丁目劇
場」でした。そのデビュー間もない彼らの才能を認めた
のが、後に吉本興業の社長・会長に就任する「大崎
洋」さんでした。その頃はまた吉本興業の若手の一社
員でした。その大崎さんですら、N・S・Cに対しては、素
人に素人が漫才を教えても、漫才師を育てられるのか
不安だったそうです。

吉本興業の創業は1912(明治45)年「寄席」を経営
する一興業会社として設立しました。

寄席に訪れるお客様はほとんどが、年配者ばかりで
したし、よく言われていたのが「大阪の笑いに、箱根の
山を越えられない」でしたが、1980(昭和55)年頃に起
きた「漫才ブーム」で、東京のテレビ局からの、依頼が
殺到しましたが、東京の大手芸能プロダクションから
「早く大阪に帰れ」と罵倒されてたそうです。

かつては一漫才コンビに、弟子一人の「付き人制
度」でしたが、この制度を打破するために出来たのが
「N・S・C」でした。一期生は、男女約100名、授業料は
年間18万円だったそうです。

その一期生の中には「ダウタウン」女性漫才の「ハ
イヒール」などがいました。

「N・S・C」一年間過ぎて卒業後、全く売れていな
かった「ダウタウン」に対して大崎さんは、ラジオ、テレ
ビ各局に売り込み、今の大成功の姿があります。

幹事報告

西沢 徹幹事



- ・ 2月のロータリーレート1
\$ = 147円です。
- ・ 次週9日の例会場は芙蓉の間
となります。お間違えの無い
ようお願いいたします。また、
第8回クラブ協議会もりんど

うの間でございます。役員・理事の方はご出席
お願いいたします。

- ・ 掲示板にも添付いたしましたが、2/5より長野
南ロータリークラブさんの例会場が一味真へ変
更されるそうです。ご承知おきください。
- ・ 月信QRコードを会報に掲載いたしました。是非
ご覧になってください。
- ・ 1/24に青少年育成基金助成の報告書を地区事務
所へ提出致しました。

2月のお祝い事

おめでとうございます



- <結婚記念会員> 宮川礼二さん
- <夫人誕生記念> 小山優里さん 山本由美子さん
- <会員誕生記念> 宮原友昭さん 村田弘志さん

2 / 9 本日のプログラム

会員卓話 西沢 徹さん
「会計中間報告」

ゲスト：倉石 智典さん (株)マイルーム代表
：邱文萃米山奨学生



- ・轟 修平さん☆来週コーヒータック新製品持ってきます。少し期待して下さい。
- ・若麻績信昭さん☆災害復興なかなか進みませんね。
- ・清水光朗さん☆先週の創立記念例会、大勢のご参加ありがとうございました。おかげで楽しいひと時を過ごせました。

- ・青木 宏さん☆明日は節分、善光寺で厄払いしてきます。
- ・太田裕志さん☆倉石さん、西ロータリークラブへようこそ！今日は宜しくお願い致します。
- ・合計 13,000円 ・スヌーピー 3,000円
・累計 381,432円

邱文萃米山奨学生訪問



講師紹介

太田裕志プログラム委員長



本日のゲスト倉石智典さんをご紹介します。昨年度私が幹事をやらせていただいた時に倉石さんは東ロータリークラブの幹事で一緒にさせていただきました。6R幹事会などで一緒にさせていただきました。そのご縁で、現在仕事等

もお付き合いさせて頂いており、大変お世話になっております。(株)マイルームの代表取締役で、最近善光寺界隈で非常に新しいお店、古き良き時代を残しつつ新しいお店が新規オープンされ、若い人で活気があります。お手元にお配りした資料の店舗の7～8割は倉石さんが手がけたお店ということです。古き良き街並みをリノベーションして、長野の観光や経済にも大きな影響のお一人だと思います。

例会案内

- 2月16日 休会 (定款に基づく休会)
- 2月23日 休会 (法定休日に基づく休会)
- 3月1日 一般例会
- 3月8日 一般例会
- 3月15日 一般例会

ゲスト卓話 倉石智典さん

「民間事業によるボトムアップ型のまちづくり」



長野東RCからお邪魔しました倉石です。私は、不動産業と建設業と設計事務所をしております、ちょっと変わっているのが、「空き家」を専門に仕事をしております。古くなって使われなくなった空き家の建物をリノベーションして改修し、お店や事務所などにしたりすることを専門にしております。

本日お配りした冊子は、イラストマップでリノベーションされて新しく出来た本屋さんやカフェ・レストラン、ゲストハウスなどあります。なかなか地元にいると町の中を歩いてお店回りする機会がないと思いますが、少しずつですが、若い方やインバウンドの方がこの冊子を片手にお見せめぐりをして街歩きを楽しまれている方がいらっしゃいますので、皆様も少しお時間をとって街中を散策してみてくださいと思います。

長野市の東町に事務所を構えております。私は、長野市生まれでしたが早く東京に出たくて、地元の街に魅力を感じませんでした。1998年オリンピックによって新幹線・高速道路が繋がりがアクセスがよくなり、また長野へ戻ってきたきっかけの一つになりました。現在も駅前周辺は若い方や通勤の方で元々の善光寺周辺の間屋街は段々商店が駅前に移り、さらにロードサイドに大型店舗が移っているかと思えます。マイルームで紹介している空き家は空きテナント物件とは明確に区分しております。テナント物件で募集をかけているところはまだ大家さんが建物資産価値を残して、大家さんがそこに費用をかけて直して、借主を広告宣伝して募集しているところ。言い方を変えると誰が使うか分からない。借りてもらい家賃が入れば資産が活用されるものに対して、マイルームで紹介している空き家は、路地や曲がった水路が多く、車が入りにくい所なので、建物は取り壊されずそのまま残っていて不動産屋の見方をするとなかなか家賃を決めて売り出すことができないと思いますが、建築家の見方をすると例えば土台や基礎、屋根がしっかりしていると内装設備を入れ替えるだけで十分建物は使えたりするものを見つけて、大家さんにも説明して、いい方がいたら紹介繋いでいくということを1軒ずつ行っています。

長野県も空き家は非常に多く、これから10～20年の間には、世帯主も減り新築も増えたりすると空き家は物凄く増えると言われております。でも、不動産屋さんで空き家は紹介されていません。なかなか流通していませんが、どのように空き家を見つけて紹介しているかという、毎月1回空き家見学会のイベントを開催しています。これで12年目になります。参加者は15名くらいで市街、県外から30代の方が一番多くお見受けします。希望者がいらっしゃったら、個別に建物診断調査をしたり、図面を作成したり、工事の見積もりを作り進めていきます。出来るだけ元の街並みや建物を生かすように行っています。

この様な仕事の中で「街づくり」という言葉にすごく違和感を覚えていまして、街は誰かが決めて作るのではなくその地域の資源を生かしたものの蓄積が、だんだん建物が集積して街になってきたのではないかと、或いはもう少し街の良さをしっかり見つけて引き継いで新しい街の使い方に回していくのも重要なのではないかと考えています。時代は変わり、人は減り家や建物は余っている、何処でも働ける時代になったので、一戸ずつの建物の使い方を沢山テストし、モデルを作りパターンを進めていくのがよいのかと考えています。